

PROPEL

もっとボートレースを

BOAT RACE 振興会
Boat Race Promotion Association

2012.12 DECEMBER

ボートレース広報誌【プロペル】

特集 今年の賞金王 & 賞金女王は誰だ？

2012年をしめくくるボートレースの最高峰「第27回賞金王決定戦」(12/19～)と、今年からスタートする「第1回賞金女王決定戦」(12/11～)が目前に迫りました。そこで今号では、優勝候補と言われるレーサーの中でも若手の有望株2人に注目。居並ぶ強豪選手たちに対し、果たしてどんなレースを見せてくれるのでしょうか。

井口佳典



宇野弥生



TOPICS みんなのW賞金王キャンペーン
公営競技最年長V記録の奪還を目指して
たくさんのママさん選手が活躍中!!
2012年賞金女王 & 賞金王決定戦
「Road to 賞金女王決定戦」開催



連載マンガ「西原理恵子のボートレースできるかな～トップを目指せ編」

全国のボートレース場紹介 ボートレース大村(長崎県大村市)

いま、賞金王に最も近い男。

賞金王の座からスランプのどん底に

現在、井口選手は獲得賞金ランキング第1位。年末の賞金王決定戦出場はもちろん、4年振りの王座獲得へと突き進んでいる。井口選手の85期はスター選手が多く、ファンの間では「銀河系軍団」とも言われる。井口選手も2008年の賞金王決定戦で優勝し、トップスターの座に躍り出た。しかしその後の歩みは苦しいものだった。賞金王になった直後から、なぜか勝てなくなってしまう。ボートレースで最上級のSGレースには出場するものの予選落ちの連続。翌年の賞金王決定戦出場選手の座を逃してしまった。前年勝者が出場すらできない。大きな屈辱だった。2010年も状況は変わらず、勝てない日々が続く。自分でも原因がわからなかった。技術が発揮できていないわけではない。ケガや病気をしたわけでもない。まさにスランプとしか言いようのないものだった。



再び「銀河系軍団」のトップスターへ

転機となったのは2011年のプロペラに関する規約改正だった。それまでボートのプロペラは選手が自由に購入し、自分に合わせて加工することが許されていた。それが2012年からはプロペラが選手の所有ではなくなり、モーターに備え付けのものを使わなければならない。これがスランプ脱出のきっかけになった。井口選手の不調はボートやプロペラが原因ではない。しかしこの改正を知って「すべてを捨てて一からやり直した」と自分の心を切り替えることができた。2011年10月の全日本選手権でついに予選を突破し、準優勝して調子を取り戻す。新プロペラ制度後、初のSGレースとなった笹川賞で見事に優勝。復活を果たす。苦闘の日々を振り返り、「結局、自分に甘えがあった」と語る井口選手。しかし「もう今は自信しかない」と2度目の賞金王の座を狙う。「銀河系軍団」にふさわしい輝きを完全に取り戻している。

挫折を乗り越え、完全復活。

井口佳典

IGUCHI YOSHINORI



PROFILE

生年月日 1977年8月22日

年齢 35歳

身長 167cm

体重 54kg

血液型 A型

現住所 三重県

登録番号 4024

級別 A1

初出走日 1999年11月17日

生涯獲得賞金 7億4,699万円



天才少女から水上の女王へ。

宇野弥生

UNO YAYOI



PROFILE

生年月日 1986年3月7日

年齢 26歳

身長 159cm

体重 47kg

血液型 B型

現住所 愛知県

登録番号 4183

級別 A1

初出走日 2002年5月28日

生涯獲得賞金 1億5,011万円



初代クイーンを目指す 女子最速スターター。



史上最年少、16歳でデビュー

ボートレーサーを養成する「やまと学校」。2001年に山梨県の本栖湖から現在の福岡県柳川市へ移転する際に募集年齢が引き下げられた。その恩恵を受ける形で、中学を卒業後すぐに入学したのが宇野選手だった。当時は「史上最年少訓練生」と騒がれ、在京テレビ局が密着取材するほどの注目を集めた。レーサーを目指すきっかけは体育の先生の一言。中学2年のスポーツテストで全校トップになり、その素質を見込んだ先生から「プロのスポーツ選手をめざすべき」と言われた。「女子で稼げるのはゴルフとテニスとボートレースと聞いたけれど、ゴルフとテニスは小さい頃からやっていた方が有利。ボートレースなら同じスタートラインで戦える」と将来の夢を決めた。「やまと学校」では天性のアスリート能力を活かして力を伸ばし、2002年5月にこれもまた史上最年少の16歳でデビューを果たした。



女子で1、2を争う快速スターター

宇野の最大の武器はスタートの速さ。女子選手で一、二を争う思い切りの良いスタートダッシュでレースを引っ張る。今年7月に大村ボートレースで開催された、男女混合戦による「モーターボート大賞」でも「スタートして少しでも出ていたらまくるつもりだった」と語った通り、4コースからのトップスタートで会心のまくり(※)を決め、G2レース初優勝。G2以上の男女混合戦で女子が優勝するのは13年振り2人目という快挙を成し遂げ、賞金女王決定戦出場機会を大きく引き寄せた。



※まくり…2～6コースからスタートした艇が、スピードを落とさず1周第1ターンマークで内側の艇を外から抜いていき、その後も抜かれずにレースに勝つ戦法。決まり手の中でも最も豪快な技でファンの人気が高い。



ORALE Centrair

空港内に初のボートレース 場外舟券発売場が誕生

旅立ちのステージ〜中部国際空港（セントレア）に広がる愉しみの空間

地元を期待を担って愛知県常滑市沖に中部国際空港（セントレア）が開港して7年が経つ。成田国際空港、関西国際空港に次ぐ、国内3番目の国際空港としてのスタートだった。アクセスや利便性のよさで旅行者を惹きつけていた中部国際空港に、この5月、空港内としては初めてボートレース場外舟券発売場「オラレセントレア」が誕生、旅立ちのステージに新たな魅力が加わって話題を呼んでいる。

華やきの回廊 ——中部国際空港（セントレア）

名鉄名古屋駅から特急で約30分。中部国際空港駅を降りれば、そこは空港の玄関・アクセスプラザ。笑顔に溢れた旅行者たちは、スムーズに旅客ターミナルビルの国際線・国内線それぞれのチェックインカウンターに誘導され、人の流れが淀むことはない。館内に高く広がる吹き抜けの空間を見上げれば、階上に和・洋の食事やショッピングを楽しめる個性的な店が建ち並び、多くの人で賑わっている。華やきの空間は回遊性に優れ、旅への期待を引き立たせる様々な演出に満ち

ている。

中部国際空港が開港したのは2005年2月17日。財中部空港調査会が策定した「中部新国際空港基本構想」が公表されてから15年目のことだった。

「セントレア」とは、日本の中心「CENTRAL JAPAN」中部にある空港（AIRPORT）として、空港の中で中心的な役割を担えるようにと今までにはない新しい空港をイメージして名付けられた中部国際空港の愛称。国策として推進された先行の国際空港と異なり、地元経済界や自治体を中心となって資金を持ち寄り設立した会社が運営にあたるなど、地域一体となって造った空港という特性





①地元の企業が製作した「黄金のトイレ」
②「オラレセントレア」全景。アクセスプラザ1Fにあってアクセスもいい ③清潔感のあるオラレ内の投票ホール ④幸福を呼ぶ6色の常滑焼の招き猫



寛ぎの空間は、質の高いハード・ソフト両面から支えられているといえる。こうしたなか、「ボートレースとこなめ」の施行者である常滑市は「セントレアにオラレ（場外舟券発売場）を設置したい」と要望、空港会社の同意を得た。鈴木執行役員は「常滑市の魅力のひとつであるボートレースの発売場設置は地元の観光振興という点でも大変よいご提案と受け止めました」と振り返る。「セントレアには、初めて〃を大事にする精神が根付いています。お風呂のある空港も初、開放感あふれる伊勢湾や鈴鹿山脈が一望できる大パノラマの無料のスカイデッキも初。空港内初の場外舟券発売場の設置にも前向きに取り組みました」。

「空港に新しい魅力」「オラレセントレア」が誕生

空港にボートレースという新しい魅力を加えるオラレセントレアは、今年5月17日、アクセスプラザ1Fのバスターミナル前にオープンした。

朝7時30分からナイターレース終了まで営業、ボートレースとこなめが開催する全レースをはじめ、全国で開催されるSG・GI（格付けの高いレース）などの舟券を年間360日買うことができる。鉄道・バスとの連携はもとより、空港内の駐車場を使うこともできるため、交通

アクセスは抜群だ。外壁はほぼ全面ガラス張りの明るい室内は清潔感に溢れ、バリアフリー構造のため、様々な利用者が気軽に立ち寄れるようになっている。航空機の乗換便の待ち時間を利用する人や一般客、バスターミナルから東海各地に移動する人たちが日々訪れている。

より楽しむための工夫も凝らされている。オラレセントレアが設置されているのは、常滑市観光案内所の中。これはレースを楽しみながら、常滑市や知多半島



「オラレセントレア」内に併設されている常滑市観光案内所

Column



常滑市長
片岡憲彦氏
Norihiko Kataoka

Interview **02**

オラレセントレアを「削減から成長」へのきっかけに

—現在 2 期目だが、市政の中心課題は

1 期目は財政状況が想像以上に悪かったので、事業仕分けをし、補助金カットや保育園の統廃合などを実施した。さらに 2011 年には「行財政再生プラン」を策定し、職員の給与カットなども行ってきた。だが、市民には夢を持ってもらうことが必要。そこで、2 期目のキャッチフレーズは「削減から成長へ」だ。空港と共生する常滑市の未来は明るいと全面に打ち出している。

—今回、中部国際空港に場外舟券売場を設置したねらいは

常滑市だけでなく、全国的にもボートレースの PR が大事。なんとか空港内に場外舟券売場をつくれなかと空港会社には要望し、実現できた。近くに本場（レース場）があるので、オラレセントレアをきっかけに本場にも来てもらいたい。外国人客の方には本国で是非、日本のボートレースを PR してほしい。

—出足は好調のようだ

1 日あたりの平均売上目標は 90 万円。7 月以降は目標を上回っている。オラレセントレアがだんだん認知されてくれば、それ以上に伸ばす

ことも可能ではないか。将来はバスターミナルから本場へのバス便を出すことも考えていた。

—観光振興全体にもいい影響があるのでは

観光案内所で常滑市や知多半島のパンフレットを見て、「こんなところもあるのか」と訪れるきっかけにしていきたい。

—市への財政的貢献も大きい

年間のレース開催日数を全国のボートレース場で一番多い 210 日にするなど、市競艇事業部の職員が前向きにやってくれていることが大きい。常滑市はこれまでいろいろな住民サービスを他市に先駆けて行ってきた。それを支えたのは多い年には 50 億円以上あった繰入金だ。過度に依存しない程度には増やしていきたい。

—利用者や市民の反応は

空港のバス利用者から見れば今まで停留所近くにトイレがなかった。オラレセントレアができたことで冷暖房のある待合所もできて重宝がられるようになった。また、常滑駅で降りて「ウインボとこなめ」に歩いてた人たちもオラレセントレアが開設して利便性が高まっている。これからも PR に努めていきたい。

明るい未来へのオラレ戦略

の名称・名物も知ってもらおうというアイデアだ。やきもの（常滑焼）で知られるまちだけに、「やきもの散歩道」などの案内や地元企業が製作して上海万博で好評を博した「黄金のトイレ」の存在が目を引く。そして案内所を抜けると、60 人程度入場できる投票ホールになっている。オープンから 4 か月の実績は利用者数、売上額とも順調で、スタートは上々だったところだ。

オラレ設置を実現した常滑市だが、実は車で 10 分も走ればボートレース場と外向発売所※「ウインボとこなめ」がある。オラレセントレアはなぜ必要だったのか。

「常滑市だけでなく、全国のレース場のために広くボートレースを PR したかったのです」と常滑市の片岡憲彦市長は答える。ボートレースの魅力を知ってもらい、人気を高めていくきっかけづくりが大規模集客施設である国際空港は絶好の場。「オラレセントレアをきっかけに、実際にレースを見にきてもらいたい。また空港島のホテルには外国人の宿泊客も多いので、観光案内所で常滑市や知多半島のパンフレットを見て、訪れるきっかけにしていきたい。」

常滑市は 2012 年度的一般会計当初



空港対岸にあるボートレースとこなめ。

※レース場に隣接する舟券売場施設

予算でボートレースからの繰入金として 6 億円を見込んでいる。空港建設関連の先行投資や下水道施設整備に伴う起債の償還などで、同市の財政状態はよいとはいえない状況にある。財政再建に取り組む同市としては繰入金は貴重な財源だ。

後藤新平の「自治三訣」を座右の銘とする片岡市長は、その三訣にいう「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう」になるため、オラレセントレアを起点に財政再建を果たし、「削減から成長へ」の飛翔を果たすつもりでいる。

「ガバナンス 2012 年 11 月号」掲載

公営競技最年長勝利記録の 奪還を目指す加藤峻二選手(70歳)

ボートレーサーとオートレーサーが熾烈なデッドヒートを展開

2012年10月20日、加藤峻二選手がボートレース平和島でのレースに出場し、ボートレーサーの現役最年長記録を更新(70歳9カ月と9日)しました。これまでの記録は、安岐義晴選手(2005年引退)の70歳9カ月と4日。今後は出場するたび、ボートレース界の現役最年長記録を更新することになります。

実はこの加藤選手、今年6月2日にボートレース蒲郡で勝利し、当時の公営競技最年長勝利(70歳142日)を記録しています。しかし6月4日にオートレースで70歳189日の選手が勝利して公営競技最年長Vの座を加藤選手から奪い、その後も記録を更新中。それに対し、加藤選手は「まだまだ負けない」と意気軒昂。ボートレース界の鉄人とも言える選手だけに、きっと最年長Vの座を奪還してくれるはずです。



ボートレース現役最高齢
加藤峻二選手

全国のボートレース場で たくさんのママさん選手が活躍中!!

女子レーサーの3人に1人がママさん選手

1500名を超える現役ボートレーサーのうち、女子レーサーは約180名。産休・育休を取り、子供を出産してから復帰し、活躍するママさん選手も約60名にのぼり、全国で活躍しています。女子レーサーの実に3人に1人がママさん選手というわけで、ボートレースが男女や年齢の別なく活躍できる競技であることのあらわれと言えます。

出産・産休から復帰した魚谷香織選手が初戦から大活躍

若手スター候補選手として人気の高い魚谷香織選手(27歳)もママさん選手の一人です。2011年9月から産休に入り、2012年4月に長男の丈虎(たけとら)くんを出産。その後、復帰を目指してトレーニングを続け、11月1日からの「2012モーターボートレディスカップ」(ボートレース住之江)で1年2カ月ぶりに現役復帰。出産を経て「精神的に成長できた」という言葉通り、初日から2着、3日目には初勝利を飾りました。



魚谷選手

いよいよ開催迫る、 2012年賞金女王決定戦 & 賞金王決定戦

TOPICS

「第1回賞金女王決定戦」

日程:2012年12月11日(火)~12月16日(日)
会場:ボートレース大村(長崎県大村市)

今年からスタートする賞金女王決定戦。優勝賞金は1,000万円で、夏の「女子王座決定戦」と並ぶ、女子選手のみによる最高グレードのレースです。1月1日から11月下旬の「チャレンジカップ」終了日までの獲得賞金上位12名が出場。果たして誰が初代女王に輝くのか、ボートレースファンならずとも注目の一戦です。

「第27回賞金王決定戦」

日程:2012年12月19日(木)~12月24日(祝)
会場:ボートレース住之江(大阪市住之江区)

今年の賞金王を決定するビッグレースが目前に迫りました。出場するのは、1月1日から11月下旬の「チャレンジカップ」終了日までの獲得賞金上位12名。全国から集った最強のレーサーたちが2012年ナンバー1レーサーの栄誉とボートレース最高額の優勝賞金1億円を賭けて熱い戦いを繰り広げます。



12月決戦に向けたプレ・イベント 「Road to 賞金女王決定戦」を開催

優勝者に贈られるティアラとネックレスを御披露目

決戦まで1カ月となった11月12日、品川グースで「Road to 賞金女王決定戦」が開催されました。当日は宇野弥生、松本晶恵、平高奈菜、藤堂里香、守屋美穂、芦村幸香の6名の若手女子レーサーが集結。ドレスアップした姿で出席者をどよめかせました。また、賞金女王決定戦の優勝者が戴冠するティアラと優勝賞品のネックレスを初披露。スワロフスキーを散りばめたティアラはオーダーメイド・ティアラデザイナーの紙谷太朗氏がボートのシルエットと激しい水しぶきをイメージして制作したもので時価500万円相当。ネックレスも1カラットのダイヤモンドを使った時価200万円相当の逸品です。宇野選手から「私らしく走り、最後に決めたい」とV宣言も出て、会場は大いに盛り上がりました。



ドレスアップした6名の若手女子レーサーたち

西原
理恵子の

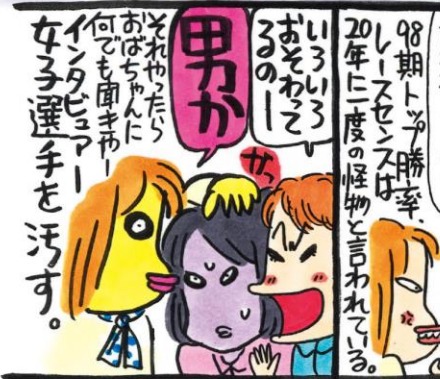


ボートレース

できる
かな

【トップをめざせ！】編

サイバラが女子トッププレーサーに直撃取材！





●日本財団に関する情報はこちらから

▶▶▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

●日本財団会長 笹川陽平ブログ

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。年の三分の一を海外活動に充て、海外情勢や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。



▶▶▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

全国のボートレース場紹介



12月の「第1回賞金女王決定戦」会場となるボートレース大村。長崎県の中央部に位置する大村湾に面し、広々とした海を眺めながら、ゆったりとレースを楽しめます。日本のボートレース発祥の地でもあり、1952年の初開催時の告知看板や記念碑が場内に設置されています。多くの遊具が並ぶびっこ広場やキッズルームなどお子様用施設も充実しており、家族で楽しめるレジャー施設です。レース場に隣接する外向発売所「ブルードラゴン」では大村での全レースをはじめ、全国で展開されるレースの舟券を年間最大360日、早朝7時30分から夜9時まで購入できます。

ADDRESS ●長崎県大村市玖島1-15-1

ACCESS ●電車:JR大村駅より無料タクシー

バス:長崎・諫早・佐世保・島原・佐賀方面より無料バス運行
車:長崎空港、長崎自動車道・大村ICより約15分

「BOAT RACE 発祥の地記念館」

ボートレースの発祥から現在までの歩みを紹介する記念館。初開催時の写真パネルや初出走ボートなど貴重な品々を展示。開館日はボートレース大村の本場開催日で、午後5時まで営業。入場料無料(ボートレース大村入場料100円が別途必要)。

ボートレースグルメ



今や全国でもおなじみの佐世保バーガー。ここでも行列ができるほどの人気メニューです。(写真:スペシャルバーガー 530円)

ボートレース大村のマスコット「ターンマーク坊や」



その名の通りターンマーク(ボート旋回地点にある赤と白のトンガリ帽子のようなパイ)をモチーフに、日本を代表するイラストレーター・原田治氏がデザイン。ボートレース大村などで販売のキャラクターグッズも人気。



「ISO/IEC27001:2005」を認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、全部門を対象とした情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際認証基準「ISO/IEC27001:2005」を認証取得いたしました。



〒108-0073 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館 TEL.03-5232-2511 FAX.03-5232-2519

||||| BOAT RACE振興会HP ||||||||| <http://www.boatrace-pr.jp/>

||||| BOAT RACEオフィシャルweb ||||||||| <http://www.boatrace.jp/>